

## 大気中放射性物質濃度測定に係る試料採取の一時中断について

本ウェブサイト定期的に掲載している大熊町東大和久交差点付近に設置中の大気中放射性物質濃度の測定に係る試料採取器具（ダストサンプラ）において、バッテリーの不具合により、最大で5月15日14時05分から17日11時20分までの間、試料採取が一時中断いたしました。

本事案は、モニタリング受託者が機器のバッテリーを交換する際に判明したものです。今回の事案を踏まえ、バッテリー点検の頻度を上げる等の再発防止策を講じて参ります。

濃度の測定及び公表は、測定期間（5/13～5/20）における上記時間帯以外の時間帯において採取したサンプルを使用して行います（ ）。

今回の試料採取中断期間を含む期間分の測定値（5月13日～20日分）が本ウェブサイトに掲載される際には、試料採取が中断された事実とその期間を明記します。

また、測定値については、以下の方法で算定します。

### < 本事案に係る測定値を得るための算定方法 >

通常、1週間分の採取試料に含まれる放射性物質の総量（Bq：分子）を一週間分の吸引大気の大気体積（cm<sup>3</sup>：分母）で割ることにより、当該一週間の平均大気中放射性物質濃度（Bq/cm<sup>3</sup>）を計算しています。

今回の事案により、一週間の中で、最大で2日間弱（補足：正確なバッテリー停止時刻が不明なため、厳密な試料採取中断時間は最大で2日間弱と考えられます。）の間、試料採取が中断したため、分母・分子とも通常よりも小さい数字になっていると考えられます。そこで、分子は測定で得られた値を用い、分母は最小の値（試料採取継続時間が最大だとしたときの、総試料採取時間：5日間強）を用いることにより、測定値を得ることとします。

### 【計算式の説明】

通常時の測定値	今回の測定値
採取量[Bq]	採取量[Bq]
-----	-----
7日分の吸引量[cm <sup>3</sup> ]	約5日分の吸引量[cm <sup>3</sup> ]

### 【連絡先】

環境省 中間貯蔵施設担当参事官室  
参事官補佐 岡野祥平 堀越孝雄  
TEL: 03-5521-8349 (7543, 7550)